

平成26年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 6
III	資料収集	P. 12
IV	資料管理・保全	P. 14
V	調査・研究	P. 15
VI	図書室等の運営	P. 17
VII	教育普及	P. 19
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 32
IX	広報事業	P. 39
X	常設展示室リニューアルオープン記念関連事業	P. 42

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

平成26年度は、常設展示室「展示改修施工業務」の実施に伴い、11月末日をもって5・6階の常設展示室(8,934㎡)を休室し、3月28日にリニューアルオープンした。開室した約8カ月間において、定期的な展示替えを計14回行ない、常時約2,000点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的で開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2014」展(文化庁と共催)、「徳川将軍の書画」展(公益財団法人徳川記念財団と共催)を開催した。

〔常設展観覧者実績〕

区分	平成26年度(A)	対前年比(A/B)	平成25年度(B)
一般	253,118人	71.3%	354,795人
学生	22,079人	83.1%	26,585人
高校生、都外中学生	48,131人	86.6%	55,591人
65歳以上	66,634人	63.9%	104,308人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	198,522人	66.5%	298,477人
合計	588,484人	70.1%	839,756人
開館日数	224日	71.6%	313日
1日あたり観覧者数	2,627人	97.9%	2,683人

(2) 常設展示リニューアル

江戸東京博物館では、現行の常設展示における課題や問題点を解決し、館の発信力を強化していくため、平成22年度より東京都が設置する「江戸東京博物館常設展示リニューアル事業検討会」を開催し実施計画案を作成した。今年度は東京都との協定により、平成25年度より開始している「展示改修施工業務」の当年度分を実施した。4月1日から11月30日まで工場内製作を行い、12月1日より常設展示室を休室し現場施工にあたり、3月28日にリニューアルオープンした。

(3) 企画展

「展覧会等企画検討委員会」答申に基づき、東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を4回実施した。

① 徳川将軍の書画

会 期 平成26年4月26日(土)～6月8日(日)
会 場 常設展示室5階 第2企画展示室
主 催 東京都 東京都江戸東京博物館 公益財団法人徳川記念財団

内 容 公益財団法人徳川記念財団が所蔵する歴代将軍の書画を公開。作品を通じて、各将軍の人となりやその治世を紹介した。また、将軍から大名や旗本に下賜された自筆画のゆくえを追い、武家社会における将軍自筆画の役割にも迫った。

担 当 野本禎司（公益財団法人徳川記念財団）・田原昇（事業企画課展示事業係）

② 発掘された日本列島 2014

会 期 平成 26 年 7 月 26 日（土）～ 9 月 15 日（月・祝）

会 場 常設展示室 6 階 特設会場（第 1 会場）、5 階 第 2 企画展示室（第 2 会場）

主 催 文化庁、東北歴史博物館、東京都江戸東京博物館、堺市博物館、長野市立博物館、九州国立博物館

協 力 株式会社朝日新聞社、株式会社朝日新聞出版、株式会社NHKプロモーション、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所

後 援 全国史跡整備市町村協議会

内 容 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。今年で 20 周年を迎えた事を記念して、「日本発掘」をテーマに、風張 1 遺跡出土の土偶（国宝）や道訓前遺跡出土の土器といった重要文化財を展示するとともに、全国でも著名な遺跡の発掘調査の成果を紹介した。また、地域展では、「新宿に生きた縄文人ー市谷加賀町二丁目遺跡の発掘ー」と題し、平成 24 年に新宿区市谷加賀町二丁目で発掘された縄文時代中期の遺跡から、副葬品などの出土物を紹介するとともに、そこで発掘された人骨から製作した「復顔」像を展示した。

担 当 阿部由紀洋（事業企画課展示事業係）・眞下祥幸（事業企画課展示事業係）

③ モダン都市 銀座の記憶ー写真家・師岡宏次の写した 50 年ー

会 期 平成 26 年 10 月 7 日（火）～ 11 月 30 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 平成 26 年に生誕 100 年を迎えた写真家・師岡宏次（1914-1991）が、1930 年（昭和 5）から 50 年余りにわたり撮り続けた銀座の写真を紹介した展覧会。師岡の銀座を題材にした作品集「銀座五十年」シリーズを一挙展示し、館蔵の生活民俗資料とともに、銀座の歩んできた歴史と、そこに集った人々の姿をふり返った。

担 当 沓沢博行（事業企画課展示事業係）

④ リニューアル記念企画展 特別公開 広重「名所江戸百景」

会 期 平成 27 年 3 月 28 日（土）～ 5 月 10 日（日）

会 場 常設展示室 5F 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 常設展示室のリニューアルを記念し、「名所江戸百景」全 120 枚（2 代広重作画、目録を含む）を前期と後期に分けて展示した。「名所江戸百景」は、歌川広重の代表作として位置づけられ、革新的な手法や斬新な構図を特徴とし、彫り・摺りの点でも優れた完成度の高い作品。江戸名所を 100 枚シリーズで出版する企画は本邦初で、後に「名所江戸百景」に影響を受けて刊行された、他作者による名所絵シリーズもあわせて紹介した。

担 当 江里口友子（都市歴史研究室長）

2 分館（江戸東京たてもの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

[入園者実績]

区 分	平成26年度(A)	対前年比(A/B)	平成25年度(B)
一 般	237,144人	257.3%	92,165人
大学生・専門学校生	45,943人	500.0%	9,187人
高校生、都外中学生	10,321人	406.3%	2,540人
65歳以上	41,330人	143.6%	28,774人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	167,419人	163.1%	102,595人
合 計	502,157人	213.4%	235,261人
1日あたり観覧者数	1,604人	212.1%	756人

① 収蔵建造物の展示

- ・平成27年3月16日に「前川國男邸」が、東京都指定有形文化財（建造物）となった。

② 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてもののライトアップ」などの各イベントを行った。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成26年5月4日（土）・5日（日・祝）

会 場 園内全体

参加者数 9,116人（当日来園者）

・小暑のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むなど、初夏の風情を再現。

期 間 平成26年7月5日（土）・6日（日）

会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど

参加者数 1,894人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現。

期 間 平成26年8月2日（土）・3日（日）

会 場 園内全域

参加者数 16,100人（当日来園者）

・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験や見学をする。
期 間 平成26年10月11日（土）・12日（日）
会 場 東ゾーン
参加者数 4,659人（当日来園者）

・紅葉とたてものライトアップ

内 容 園内の建造物にやさしい光を当て、夜のたてもの園の魅力を伝える。
期 間 平成26年11月22日（土）・23日（日・祝）・24日（月・休）
会 場 園内全域
参加者数 21,644人（当日来園者）

・正月飾りづくり

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座
期 間 平成26年12月6日（土）・7日（日）
会 場 東ゾーン
参加者数 76人（当日参加者）

・新春の昔遊び

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など正月ならではの催しを実施。
期 間 平成27年1月10日（土）・11日（日）・12日（月・祝）
会 場 園内全体
参加者数 9,138人（当日来園者）

・たてもの園フェスティバル

内 容 開園記念日に、大工体験、左官体験など建造物に親しむ講座等を実施。
期 間 平成27年3月28日（土）
会 場 園内全体
参加者数 9,426人（当日来園者）

・伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 村山大島紬、木版染小紋、東京銀器、東京手描き友禅、着物仕立て、組紐、江戸木彫刻、東京建具、木彫刻、つまみかんざし、七宝、東京仏壇、竹工芸、つりしのぶ、型小紋、刀研ぎ師、染色、表具師、紋章上絵、有職畳、鍔かんざし、村山大島紬、藤工芸
期 間 平成26年4月～平成27年3月のうち24日間
会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・綱島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、盆、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、大根干し、小正月・繭玉飾り、節分
期 間 平成26年4月～平成27年3月のうち年8回
会 場 江戸東京たてもの園 綱島家

③ 学校連携事業

「昔暮らし体験」「ひじろっ子（子どもボランティア）」「教職員研修」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。
参加人数 51校 3,917人

・子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬等の遊びの指導などを行った。
参加人数 26人

・教職員研修

小金井市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。
参加人数 21人

④ 教育普及事業

- ・江戸糸あやつり人形伝統文化親子教室（結城座） 参加者数 36人
平成26年10月18日（土）・19日（日）
復元建造物の中で、江戸糸あやつりに親しむ体験講座を行った。

⑤ミュージアムトーク

毎月1回（第4土曜日）に随時実施。
学芸員による復元建造物や特別展について解説した。

[内 容]

- 4月26日（土）：特別展「憧れのモダン住宅」 早川典子（学芸員）
- 5月17日（土）：特別展「憧れのモダン住宅」 早川典子（学芸員）
- 5月24日（土）：高橋是清の生い立ちからペルー銀山開発まで 松井かおる（学芸員）
- 6月28日（土）：東京のたてものと文学Ⅲ 湯川説子（学芸員）
- 7月26日（土）：たてもの園の中のくら 川上香（学芸員）
- 8月23日（土）：近代日本と三井八郎右衛門高棟 田中裕二（学芸員）
- 9月27日（土）：塩出英雄の作品と会水庵 畑尚子（学芸員）
- 10月25日（土）：デ・ラランデ邸 早川典子（学芸員）
- 11月22日（土）：鍵屋 山崎尚之（学芸員）
- 12月20日（土）：年越しと新年の準備 川上香（学芸員）
- 1月24日（土）：自証院とお振の方 畑尚子（学芸員）
- 2月28日（土）：子宝湯 田中裕二（学芸員）
- 3月28日（土）：特別展「武蔵野郷土館における下布田遺跡の発掘調査とその成果」
松井かおる（学芸員）

⑥ビジターセンターの導入展示

・小金井公園の桜写真展

平成26年4月1日（火）～5月25日（日） 3,973人
（平成25年度分会期：3/11（火）～3/31（月））

・小金井公園の桜写真展

平成27年3月25日（水）～31日（火） 1,991人
（平成27年度分会期：4/1（水）～5/24（日））

⑧東京大茶会

平成26年9月27日（土）・28日（日） 入園者数 19,306人

(2) 展示企画

特別展

- ・憧れのモダン住宅―建築家 土浦亀城・信子夫妻の提案
平成 26 年 4 月 1 日（火）～5 月 18 日（日）／入園者数 59,150 人
（平成 25 年度分会期：3/15～3/31 全会期入園者数：85,216 人）
内容：東京都指定有形文化財である土浦亀城邸（品川区に現存）の紹介や、江戸東京博物館が所蔵する関連資料の展示を通して夫妻の業績を追った。
- ・ジブリの立体建造物展
平成 26 年 7 月 10 日（木）～平成 27 年 3 月 15 日（日）／入園者数 399,069 人
内容：スタジオジブリ作品に登場する様々な建物にスポットを当て、映画に登場する建物の模型や設定資料、背景画といった美術資料を展示。
- ・下布田遺跡―武蔵野の歴史と考古学―
平成 27 年 3 月 28 日（土）～3 月 31 日（月）／入園者数 15,259 人
（平成 27 年度分会期：4/1～5/17 全会期入園者数：65,203 人）
内容：江戸東京たても園の前身である武蔵野郷土館の歴史と、同館が行った発掘調査の一例として下布田遺跡の調査概要と出土物を紹介した。

II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、オンラインチケットの販売拡充、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成26年度の特別展入館者数は、延べ253日間の会期に計386,485人の観覧者を迎えることができた。

1 江戸東京博物館開館20周年記念特別展「大江戸と洛中 ～アジアのなかの都市景観～」

期 間	平成26年4月1日(火)～平成26年5月11日(日)延べ37日間 *全体の会期は、平成25年3月18日(火)～5月11日(日)延べ49日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
内 容	江戸時代における都市「江戸」を、国内外の都市と比較し、かつ海外との交流の側面から探った。とかく鎖国などの語彙に代表されるように、江戸時代は海外に対して閉鎖的なイメージがある。しかしながら都市「江戸」は日本を代表する都市として成長し、さまざまな情報や品々を受け取りかつ発信していた。「江戸」の持つ国際的な側面に注目し、江戸時代を通して次第に視野を広げ、近代を準備した都市江戸の実像に迫った。
観 覧 料	一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数	34,639人(1日平均 936人)

2 2014年NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」

期 間	平成26年5月27日(火)～平成26年7月13日(日)延べ42日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
協 賛	日本写真印刷株式会社、ハウス食品グループ本社、みずほ銀行
内 容	戦国時代末期、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に重用された、天才的軍師、黒田官兵衛に関わる歴史資料を展示した。信長、秀吉、家康や本能寺の変、小田原攻め、関ヶ原の戦など、歴史に係る資料に加え、黒田官兵衛が、和歌や茶の湯を愛し、また、クリスチャンであったことから、文化に関する資料も展示し、奥行きのある内容の展覧会とした。
観 覧 料	一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、高校生・65歳以上650円
入場者数	75,272人(1日平均 1,792人)
関連イベント	

(1) NHKネットクラブ特別鑑賞会(400組800名)

日時:6月2日(月)1回目 11時～、2回目 午後1時30分～

場所:東京都江戸東京博物館 展示室

参加費：無料（事前応募・抽選）
参加者数：646人

- (2) みずほプレミアム会員内覧会（計700組1,400名）
日時：6月9日（月）10時～、11時～、12時～、13時～、14時～、15時～。
場所：東京都江戸東京博物館 展示室
参加費：無料(事前応募・抽選)
参加者数：1,147人

3 「思い出のマーニー×種田陽平展」

期 間 平成26年7月27日（日）～平成26年9月15日（月・祝）延べ49日間
会 場 1階 企画展示室
主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、スタジオジブリ、日本テレビ、読売新聞社、ローソン、イープラス、「思い出のマーニー」製作委員会
特別協賛 KDDI、アイフルホーム
協 賛 EPSON、ア・ファクトリー
内 容 スタジオジブリの企画による、夏休み家族向けの展覧会。2014年夏公開予定の「思い出のマーニー×種田陽平展」の世界観を再現し、大人から子供までが楽しめる内容の展覧会とした。
観 覧 料 一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高校生・65歳以上650円
入場者数 74,388人（1日平均 1,518人）
関連イベント

- (1) KDDI 夜間特別鑑賞会（各50組100名）
1回目 7月31日（木）17時30分～21時
2回目 8月3日（日）17時30分～21時
3回目 9月2日（火）17時30分～21時
会場：東京都江戸東京博物館 展示室
参加費：無料(事前応募・抽選)
参加者数：1回目 79人、2回目 63人、3回目 255人
- (2) ジブリ汗まみれ公開収録
日時：7月31日（木）16時30分～17時30分
会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール
参加費：無料
参加者数：200人
- (3) 村松崇継+プリシラ・アーンコンサート
日時：8月3日（日）15時～16時
会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール
参加費：無料(事前応募・抽選)
参加者数：334人
- (4) 種田陽平氏のギャラリートークとサイン会
開催日：8月29日（金）
集合：19時10分 1階展示室入口前
ギャラリートーク：19時15分～19時45分
サイン会：19時50分～20時20分
参加方法：各自、観覧券を持って集合
参加者数：146人

- (5) 「借りぐらしアリエッティ」 上映会(無料)
 開催日：9月2日(火)
 時間：11時～、14時～の2回上映(上映時間：94分)
 場所：1階大ホール

招待者：Yomiuri Premium 50組100名×2回=100組200名
 ニコニコ動画 100組200名×2回=200組400名
 KDDI 50組100名(14:00の回のみ)
 参加者数：11時 114人、14時 131人

- (6) 夜間特別鑑賞会(東京メトロとアイフルホームの招待者)
 開催日：9月7日(日)
 〈東京メトロ〉18時15分～19時30分(約50名～70名)
 〈アイフルホーム〉19時30分～21時(約40名)
 ※EPSONの出力サービス 18時～21時
 参加者数：東京メトロ 75人、アイフルホーム 34人

4 東京オリンピック・パラリンピック開催50年記念特別展「東京オリンピックと新幹線」展

期 間	平成26年9月30日(火)～平成26年11月16日(日) 延べ42日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、東映、読売新聞社、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
協 力	JR北海道、JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、一般社団法人日本交通協会、公益財団法人交通道德協会、公益財団法人交通協力会
内 容	2014年は、東京オリンピックの開催、そして新幹線の開業から50年目の年にあたる。終戦後、日本は、経済的な復興を果し、高度経済成長期を迎える。その姿は、東京に端的に現れ、東京オリンピックの開催、それに合わせての東海道新幹線、高速道路の開通、高層ビルの出現など、都市東京の姿は急激に変化していった。また、市民の生活も、団地での生活、電化製品の普及など、それまででない生活形態をとりはじめる。本展では、新幹線の歴史を語る鉄道関係資料とともに、東京の街並みや人々の日常生活の変化を語る、様々な資料を展示し、高度経済成長期から現在までの、東京の社会、文化、人々の暮らしの変遷を紹介した。
観 覧 料	一般1,340円、大学・専門学校生1,070円、小中高校生・65歳以上670円
入場者数	47,480人(1日平均 1,130人)

関連イベント

- (1) 映画上映会「東京オリンピック」(市川崑 総監督/1965年)
 日時：10月26日(日)13時30分～16時20分(上映時間170分)
 会場：1階ホール
 定員：400名(事前申込)
 参加者数：223名
- (2) 映画上映会「東京パラリンピック 愛と栄光の祭典」(渡辺公夫監督/1965年)
 日時：11月3日(月・祝)13時30分～14時33分(上映時間63分)
 会場：1階 会議室
 定員：150名(事前申込)
 参加者数：48名

5 「探検！体験！江戸東京」

期 間	平成26年12月2日（火）～平成27年3月8日（日）延べ79日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社
内 容	常設展示室が改修工事のために閉室されるのを機に、通常は広い空間で模型類とともに展示されている様々な館蔵品を、惜しみなく1階の展示室に集合させ、資料個々の歴史的価値や魅力をより丁寧に紹介するとともに、資料により密着したかたちで江戸東京の歴史や文化を振り返った。普段は展示しづらい資料や、珍しい資料、小中学校の教科書に掲載されているような資料も展示するなどの工夫をし、この時期にいつも常設展示室に来館する学校団体にとっても、魅力ある展覧会とした。
観 覧 料	一般 300円、大学・専門学校生 240円、都外中・高校生・65歳以上 150円
入場者数	133,715人（1日平均 1,693人）

6 「大関ヶ原展」

期 間	平成27年3月28日（土）～平成27年3月31日（火）延べ4日間 *全体の会期は、平成27年3月28日（土）～5月17日（日）延べ48日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、テレビ朝日、BS朝日、博報堂DYメディアパートナーズ
特別協力	公益財団法人 徳川記念財団、大阪城天守閣、朝日新聞社
協 力	株式会社コーエーテクモゲームス
後 援	関ヶ原町
協 賛	大日本印刷株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社ブシロード
内 容	2015年は徳川家康没後400年目であると同時に、豊臣家が滅亡した大坂合戦から400年となる。そのため戦国時代から江戸時代にかわる節目として徳川家康を中心とした企画が期待されるようになっていく。さらに、近年、研究の進展により豊臣秀吉没後から大坂合戦に至る時代があらためて注目されており、江戸幕府が必然ではない徳川家と豊臣家の二頭体制を構想するなど複雑な社会が主張され、かつその時期の闊達な文化が注目されている。そこで、このような社会情勢に先駆けて、江戸に幕府が開かれるに至った状況はどのようなようであったかの展示を行った。
観 覧 料	一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、小中高生・65歳以上680円
入場者数	20,991人（1日平均 5,248人）

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成26年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を2回開催し、第1回目（10月30日）では購入資料を、第2回目（1月26日）では寄贈資料を付議した。

(1) 平成26年度資料収集点数 (単位：点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	620	5,838	0	6,458
図 書 資 料	584	0	4,164	4,748
映像音響資料	2	44	0	46
合 計	1,206	5,882	4,164	11,252

(2) 主な収集資料（寄贈資料より）

分 類	資 料 名
建造物	「国立陸上競技場」銘板
絵画・書跡 典籍類・	式亭三馬関係資料
絵画	錦絵版画帖
文書類	学童疎開資料
印刷物	歌舞伎・演劇パンフレット
印刷物・ 生活民俗等	東京オリンピック関係資料
生活民俗	大正期下町女性の着物
生活民俗	関東大震災で溶けた皿
生活民俗・静 止画	土浦亀城関係資料
絵画・生活民 俗等	小澤一蛙関係資料

2 資料制作

「東京都第五建設事務所古井戸」（東京都建設局原蔵、東京都第五建設事務所管理）、「東海道五拾三次図屏風」（当館蔵）の2件3点の複製資料を製作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

[主な購入資料]

分類	資料名
工芸品	黒塗丸十紋散牡丹唐草蒔絵女乗物
工芸品	黒紅練緯地宝尽模様腰巻
工芸品	萌黄羅紗地レクシヨン羽織
絵画	山中新五郎肖像
絵画	団扇絵 網に魚づくし
典籍	万宝料理秘密箱
典籍	大正震災写真集
文書類	幕臣加藤家文書・矢代家文書
文書類	廣田理太郎邸関係資料
生活民俗	百貨店包装紙 一括

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

191点の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	点数	資料分類	点数
標本資料	182	映像音響資料	8
絵画	11	動画	8
工芸品	5		
文書類	153	図書資料	1
印刷物	2	図書	1
書跡	1		
典籍類	10		

(2) 資料の収蔵

平成27年3月末日現在、592,659点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	314,853点
映像音響資料	41,986点
図書資料	235,820点

(3) 資料の貸出

平成27年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、6件（211点）の資料を貸し出した。

※常設展示改修工事のため、平成26年12月1日から平成27年3月31日まで、資料貸出業務は一時休止した。

(4) 寄託資料の更新

9件、20,823点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業（常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等）への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム（資料情報システム）の管理及び運用を行った。

また、館内に5台設置している「収蔵庫からのメッセージ」について、システムのリプレースを行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

- (1) 年間特定研究「隅田川流域の歴史と文化 浅草1（前近代）」
研究成果はシンポジウム「浅草地域のあゆみ」、えどはくカルチャー等で発表した。
- (2) 共同研究
 - ① 比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）
共同研究会 平成27年3月26日 大阪歴史博物館
酒井一光「本間乙彦の言説を通してみた大正・昭和初期の大阪の建築」
米山 勇「近代における東京・大阪の『建築一都市』史比較」
 - ② 在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）
小林淳一・小山周子
- (3) 基盤研究
 - ① 市川寛明 米屋田中家文書の研究
 - ② 田中実穂 園芸関係資料の調査
 - ③ 米山 勇 館蔵絵葉書に関する建築史的研究
 - ④ 落合則子 勝海舟・川村清雄を中心とした旧幕臣関係史料の基礎調査（成果：史料叢書・調査報告書）

2 シンポジウムの開催

「浅草地域のあゆみ ―江戸の信仰とにぎわい―」

開催日 平成26年11月22日（土）

会場 1階 ホール

参加人数 353人

報告

竹内 誠（当館）「中・近世の浅草地域を俯瞰する」

伊藤宏之（台東区教育委員会）「中世の浅草地域」

田中麻衣（筑波大学附属桐が丘特別支援学校）

「寺町浅草の形成過程―明暦大火前後を中心として―」

小澤 弘「浅草寺と門前町 ―聖と俗の交錯―」

市川寛明（当館）「猿若町の成立」

問題提起・司会：米山 勇

3 書籍の編集・刊行

- ① 『調査報告書』第29集の刊行

名称 『江戸の園芸文化』

発行年月日 平成27年3月20日

発行部数 1,200部

構成

1. カラー口絵

2. 論考

「植木屋の庭園空間をあるく」秋山伸一（豊島区立郷土博物館）

「江戸における園芸の普及と園芸市場の形成」市川寛明（当館）

「浮世絵に描かれた染井と植木市」 日野原健司（太田記念美術館）

「武士の園芸」 岩淵令治（学習院女子大学）

「本草学者にとっての園芸－佐橋四季園と岩崎灌園を例に－」

平野恵（台東区立中央図書館）

「柳沢信鴻と園芸文化」 小澤弘（淑徳大学）

「江戸遺跡出土植木鉢の類型と変遷についての予察－豊島区出土資料を中心として－」

成田涼子（豊島区教育委員会）

3. 平成 25 年度特別展「花開く 江戸の園芸」展示作品リスト

②『東京都江戸東京博物館紀要』第 5 号の刊行

名 称 『東京都江戸東京博物館紀要』第 5 号

発行年月日 平成 27 年 3 月 20 日

発行部数 1,500 部

構 成

口 絵

序 言

論 稿

1. 畑 尚子「江戸城二丸御殿」
2. 湯川説子「『浅草紅団』の世界」
3. 小林 克「今戸焼 土人形の寄贈とその関係資料に関する覚書」
4. 菊楽 忍「書簡集から建築活動をたどる－建築家ヤン・レツルについて－」
5. 市川寛明「人宿米屋田中家の『年中行事』と経営サイクル」
6. 落合則子「川村清雄と越後の素封家の娘－真説「悲惨なる画家の半生」－」

【小特集】武蔵野郷土館の活動と考古学

加藤 功（元武蔵野郷土館調査員）「武蔵野博物館と武蔵野郷土館」

土井悦枝（元武蔵野郷土館調査員）「武蔵野郷土館の資料の魅力」

坂詰秀一（武蔵野文化協会会長）「武蔵野郷土館と考古学」

岡田淳子（北海道立北方民族博物館館長・元武蔵野郷土館調査員）「50年前の武蔵野郷土館－特色ある年中行事と屋外使節－」

鼎談「武蔵野郷土館における発掘調査と考古学」 岡田淳子・川碕義雄・坂詰秀一

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。閉室期間中（27年3月10日（火）～同年3月27日（金））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	37,434人
閉架図書請求数	1,763冊
マイクロフィルム請求数	314件
図書複写申請数（モノクロ）	10,469枚
図書複写申請数（カラー）	1,235枚
マイクロフィルム複写申請数	3,183枚
レファレンス対応数	1,673件
インフォメーション対応数	2,165件
WEB-OPAC検索利用数	1,112,429件
ALC検索利用数	89,646件

2 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成26年7月19日（土）～8月31日（日）

対応人数 429人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を行った。

展示テーマ	会 期	担 当
江戸の華 町火消の装束	3月4日～5月11日	井上美奈子（司書）
明治の女流翻訳家	5月20日～6月29日	上杉 海（司書）
武井武雄 生誕120周年	7月5日～9月30日	楯石もも子（司書）
オリンピックと新幹線の年 1964年の銀座	10月19日～12月23日	栗原智久（司書）
江戸博の建物 なぜこのかたち？	1月6日～5月10日	小宮山めぐみ（司書）

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会期	担当
特別展「大江戸と洛中」	3月18日～5月11日	小宮山めぐみ（司書）
特別展「軍師官兵衛」	5月27日～7月13日	井上美奈子（司書）
特別展「思い出のマーニー×種田陽平」	7月27日～9月15日	楯石もも子（司書）
特別展「東京オリンピックと新幹線」	9月30日～11月16日	上杉 海（司書）
特別展「大関ヶ原」	3月28日～5月17日	小宮山めぐみ（司書）
企画展「徳川将軍の書画」	4月26日～6月8日	栗原智久（司書）
企画展「発掘された日本列島 2014」	7月26日～9月14日	井上美奈子（司書）
企画展「モダン都市 銀座の記憶－写真家・師岡宏次の写した50年－」	10月7日～11月30日	式 淳子（司書）
企画展「下岡蓮杖と幕末明治の写真」	3月4日～5月6日	楯石もも子（司書）
特集「吉田初三郎の鳥瞰図～鳥の眼でみる都市の情景」	6月24日～9月30日	楯石もも子（司書）
特集「浅草地域のあゆみ」	11月18日～12月27日	井上美奈子（司書）
特集「追悼十代目坂東三津五郎」	2月24日～3月8日	井上美奈子（司書）

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計90講座を開催した。

期 間	平成26年4月4日（金）～平成27年2月26日（木）
会 場	江戸東京博物館（ホール、会議室）
受 講 料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）
受講者数	12,456人
講 座 数	90講座

春講座 計 24 回(3,930 人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講 座 名	講 師	参加人数
1	4月4日(金)	開館20周年記念特別展「大江戸と洛中」 ①「大江戸と洛中」展の視角	齋藤慎一	162
2	4月8日(火)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 3 ープレ古文書講座の試みー①	市川寛明	110
3	4月10日(木)	江戸時代の大名 ①大名とは	近松鴻二	258
4	4月16日(水)	見たい！日本の名建築Ⅳ ①神奈川編・1	米山勇	163
5	4月17日(木)	江戸時代の大名 ②大名の種類	近松鴻二	242
6	4月22日(火)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 3 ープレ古文書講座の試みー②	市川寛明	103
7	4月25日(金)	開館20周年記念特別展「大江戸と洛中」 ②洛中洛外図屏風に見る中世京都の都市空間	西山剛	162
8	5月8日(木)	江戸時代の大名③大名の格式	近松鴻二	267
9	5月9日(金)	企画展「徳川将軍の書画」 ①「徳川将軍の書画」展の見どころ	野本禎司	94
10	5月13日(火)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 3 ープレ古文書講座の試みー③	市川寛明	98
11	5月15日(木)	浮世絵師列伝Ⅰ ①菱川師宣ー浮世絵の誕生ー	小澤弘	192
12	5月16日(金)	企画展「徳川将軍の書画」 ②史料にみる歴代将軍の人となり	田原昇	147

13	5月20日(火)	江戸時代の花と緑を読むⅢ①江戸の桜と花見	田中実穂	97
14	5月23日(金)	企画展「徳川將軍の書画」 ③徳川將軍による自筆画の下賜とそのゆくえ	野本禎司	96
15	5月28日(水)	見たい！日本の名建築Ⅳ ②近畿(京都・奈良以外)編・1	米山勇	163
16	5月29日(木)	浮世絵師列伝Ⅰ ②鳥居清信・清倍ー上方から江戸へー	小澤弘	182
17	6月3日(火)	江戸時代の花と緑を読むⅢ ②江戸の花菖蒲 ～『花菖蒲培養録』を読む～	田中実穂	80
18	6月4日(水)	NHK 大河ドラマ特別展 軍師官兵衛 ①秀吉の中国攻めと官兵衛の活躍	太田浩司	236
19	6月11日(水)	NHK 大河ドラマ特別展 軍師官兵衛 ②黒田官兵衛の出自	渡邊大門	237
20	6月12日(木)	浮世絵師列伝Ⅰ ③奥村正信ー版元兼絵師ー	小澤弘	174
21	6月17日(火)	江戸時代の花と緑を読むⅢ ③葉を楽しむ ～『草木錦葉集』を読む～	田中実穂	77
22	6月18日(水)	NHK 大河ドラマ特別展 軍師官兵衛 ③豊臣政権と小田原合戦	齋藤慎一	273
23	6月25日(水)	見たい！日本の名建築Ⅳ ③近畿(京都・奈良以外)編・2	米山勇	144
24	6月26日(木)	浮世絵師列伝Ⅰ ④懐月堂安度と宮川長春ー肉筆美人画ー	小澤弘	173

夏講座 計24回(3,146人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
25	7月1日(火)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 4 ープレ古文書講座の試みー①	市川寛明	115
26	7月10日(木)	見たい！日本の名建築Ⅴ ① 北海道編	米山勇	138
27	7月15日(火)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 4 ープレ古文書講座の試みー②	市川寛明	103
28	7月17日(木)	江戸時代の花と緑を読むⅣ ①朝顔を楽しむ 1 『あさかほ叢』など	田中実穂	78
29	7月18日(金)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史① 総論	水野正好	161
30	7月29日(火)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 4 ープレ古文書講座の試みー③	市川寛明	102

31	8月5日(火)	和楽器を体験！ 水道管尺八	田嶋謙一 川村葵山	17
32	8月7日(木)	特別展「思い出のマーニー×種田陽平展」の見どころ	橋田真	51
33	8月8日(金)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史 ②旧石器時代	小野昭	149
34	8月12日(火)	和綴じ本を作ってみよう！（午前コース）	楯石もも子	16
35	8月12日(火)	和綴じ本を作ってみよう！（午後コース）	楯石もも子	18
36	8月14日(木)	見たい！日本の名建築Ⅴ ②中国編・1	米山勇	140
37	8月21日(木)	円朝の怪談噺を読む① 『鏡ヶ池操松影』	横山泰子	167
38	8月22日(金)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史 ③縄文時代	小林達雄	212
39	8月28日(木)	江戸時代の花と緑を読むⅣ ②朝顔を楽しむ 2 『両地秋』など	田中実穂	77
40	8月29日(金)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史 ④弥生時代	石川日出志	169
41	9月3日(水)	「書き込み文字」で浮世絵などを読み解く ①浮世絵	北原進	255
42	9月10日(水)	「書き込み文字」で浮世絵などを読み解く ②風景画	北原進	231
43	9月11日(木)	見たい！日本の名建築Ⅴ③ 中国編・2	米山勇	151
44	9月12日(金)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史 ⑥古代	松村恵司	179
45	9月17日(水)	「書き込み文字」で浮世絵などを読み解く ③名所案内	北原進	230
46	9月18日(木)	円朝の怪談噺を読む② 『怪談乳房榎』	横山泰子	157
47	9月25日(木)	江戸時代の花と緑を読むⅣ ③秋の七草を語る 『秋野七草考』	田中実穂	76
48	9月26日(金)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史 ⑦中・近世	小野正敏	154

秋講座 計 22 回(2,923 人)

通算数	実施日	講座名	講師	参加人数
49	10月3日(金)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 5 —プレ古文書講座の試み—①	市川寛明	102
50	10月7日(火)	特別展「東京オリンピックと新幹線」 ①文学者たちの見た東京オリンピック・パラリンピック	行吉正一	30
51	10月9日(木)	江戸時代の花と緑を読むV ①花の種類と育て方『花壇綱目』を読む	田中実穂	54
52	10月16日(木)	浮世絵師列伝Ⅱ ①鈴木春信—錦絵の誕生—	小澤弘	194
53	10月17日(金)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 5 —プレ古文書講座の試み—②	市川寛明	92
54	10月21日(火)	特別展「東京オリンピックと新幹線」 ②新幹線と日本人の生活文化	米山淳一	49
55	10月24日(金)	見たい！日本の名建築VI①東海編	米山勇	142
56	10月31日(金)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸 5 —プレ古文書講座の試み—③	市川寛明	89
57	11月5日(水)	企画展「モダン都市銀座の記憶 - 写真家・師岡宏次の写した50年-」 写真でみる「モダン銀座」の楽しみ方	沓沢博行	81
58	11月6日(木)	江戸時代の花と緑を読むV ②花の名前と育て方～植木屋伊兵衛の仕事	田中実穂	65
59	11月8日(土)	特別展「東京オリンピックと新幹線」 ③1964年東京パラリンピック	中村太郎	45
60	11月13日(木)	浮世絵師列伝Ⅱ②勝川春章—似顔の役者絵—	小澤弘	185
61	11月14日(金)	直参①直参とは	近松鴻二	315
62	11月21日(金)	見たい！日本の名建築VI②九州・四国編・1	米山勇	157
63	11月27日(木)	浮世絵師列伝Ⅱ③鳥居清長—八頭身美人画—	小澤弘	171
64	12月4日(木)	江戸時代の花と緑を読むV ③園芸資料に見る花と葉の名前	田中実穂	57
65	12月5日(金)	直参②旗本	近松鴻二	279
66	12月11日(木)	東京の劇場Ⅰ①歌舞伎座の歴史	粟屋朋子	101
67	12月12日(金)	見たい！日本の名建築VI③九州・四国編・2	米山勇	153
68	12月18日(木)	浮世絵師列伝Ⅱ④喜多川歌麿—美人大首絵—	小澤弘	195

69	12月25日(木)	東京の劇場 I ②東京宝塚劇場の歴史	粟屋朋子	64
70	12月26日(金)	直参③御家人	近松鴻二	303

新春講座 20回(1,632人)

通算数	実施日	講座名	講師	参加人数
71	1月7日(水)	伊豆諸島の歴史と生活文化 ①考古資料からみた伊豆諸島の歴史 —古代～中世を中心として—	小林克	57
72	1月13日(火)	「発掘された日本列島」展 20周年記念連続講座 日本発掘！ここまでわかった日本の歴史 古墳時代	大塚初重	110
73	1月15日(木)	「書き込み文字」で江戸の風景画などを読み解く①	北原進	176
74	1月20日(火)	見たい！日本の名建築・リバイバル【京都・奈良編】 ①京都編・1～平等院鳳凰堂、宇治上神社、東福寺、西本願寺、慈照寺ほか	米山勇	217
75	1月21日(水)	江戸時代の花と緑を読むVI ①江戸の松づくし～松を使う	田中実穂	65
76	1月22日(木)	「書き込み文字」で江戸の風景画などを読み解く②	北原進	173
77	1月27日(火)	見たい！日本の名建築・リバイバル【京都・奈良編】 ②京都編・2～教王護国寺(東寺)、醍醐寺、法観寺、妙喜庵待庵、桂離宮ほか	米山勇	223
78	1月29日(木)	「書き込み文字」で江戸の風景画などを読み解く③	北原進	181
79	2月4日(水)	江戸時代の花と緑を読むVI ②江戸の松づくし～庭園の松	田中実穂	79
80	2月5日(木)	えどはくコレクションの世界①四谷塩町一丁目文書	市川寛明	135
81	2月11日(水)	伊豆諸島の歴史と生活文化 ②伊豆諸島にいきる人々—食文化を中心に—	小林克	65
82	2月12日(木)	えどはくコレクションの世界 ②東京都近代文学博物館の旧蔵資料から	湯川説子	98
83	2月13日(金)	たてもの園セミナー 武蔵野郷土館における発掘調査とその成果 下布田遺跡を中心に	川崎義雄 小池聡 赤城高志	53
84				
85				

86	2月17日(火)	見たい！日本の名建築・リバイバル【京都・奈良編】 ③奈良編・1～法隆寺、東大寺ほか	米山勇	226
87	2月18日(水)	江戸時代の花と緑を読むVI ③江戸の松づくし～名木を訪ねて	田中実穂	61
88	2月19日(木)	えどはくコレクションの世界 ③広重・保永堂版「東海道五拾三次」	江里口友子	220
89	2月24日(火)	見たい！日本の名建築・リバイバル【京都・奈良編】 ④奈良編・2～興福寺、海竜王寺、元興寺、春日大社、薬師寺、唐招提寺ほか	米山勇	215
90	2月26日(木)	えどはくコレクションの世界 ④赤城コレクションと江戸のモノづくり	松井かおる	103

2 伝統芸能フォーラム

伝統芸能の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、常設展リニューアルオープン記念フォーラム「伝統文化の海外発信と異文化理解」、及び能楽公演を開催した。

(1) 「能楽公演」公益財団法人能楽協会の企画制作による観世流「融」の公演

期 日	平成26年11月29日(土)
会 場	江戸東京博物館 1階ホール
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内 容	宝生流「融」 第一部 解説・謡体験 第二部 能 観世流「融」 出演：松山隆雄、観世鍔之丞、武田宗和、武田友志 他
入場料	2,000円(高校生以下1,000円)
参加者数	327人

3 国際交流事業

平成14年度から、東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市立歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院(平成18年度より参加)の4館で首都における歴史博物館の交流の一環として、毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

本年は、平成26年12月2日・3日、北京の首都博物館で実施された第13回日中韓国際シンポジウムに3人が参加。今回のシンポジウムのテーマである「都市博物館の近現代所蔵品により見学者の間と交流の橋を架ける」「江戸と北京展を例にして、都市博物館間の共同企画展の開催を考える」「10年間の成果を振り返り、協力の未来像を描く」に出席し発表、討議を行い、参加各館との情報交換を行った。

4 えどはく寄席

日 程	リニューアル事業のため、正月寄席・ファミリー寄席は開催せず、新緑寄席・向日葵寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィークを実施した。今年度も1日あたりの開催回数には2回から4回の幅を持たせ、時間も来館者の多い時間帯に合わせて実施した。
客 数	69,725人（うち「秋の伝統芸能ウィーク」6,760人）
内 容	伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲芸などを実演した。内容については新緑寄席や向日葵寄席ではファミリー向けの太神楽やジャグリングなどを中心とした構成とし、特に向日葵寄席では夜間開館にああわせ、落語による怪談を実施するなど、特集的な要素を盛り込んだ。紅葉寄席では芸術の秋に合わせて落語などじっくり聞かせる演目とした。また例年正月に行うからくり公演をこの時期に実施し、来館者臍を図った。さらに今年度も、学校団体の多い11月の平日に児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、事業の充実を図った。

【実績一覧】 日付の前、無印は通常のえどはく寄席、☆印は伝統芸能ウィークを各々表す。

日 付	演 目	出 演 者	観客数
4月14日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	502
4月26日	太神楽・曲独楽	鏡味味千代・やなぎ南玉	1,274
4月27日	紙切り・玉すだれ	林家花・橘家竹蔵	1,241
4月28日	太神楽・曲独楽	鏡味味千代・やなぎ南玉	809
4月29日	紙切り・玉すだれ	林家花・橘家竹蔵	1,489
4月30日	曲独楽・太神楽	やなぎ南玉・鏡味味千代	1,192
5月1日	紙切り・相撲漫談	林家花・一矢	1,024
5月2日	紙切り・ヴァイオリン漫談	青空麒麟児・マグナム小林	850
5月3日	太神楽・相撲漫談	鏡味初音・一矢	1,446
5月4日	相撲漫談・ヴァイオリン漫談	一矢・マグナム小林	1,517
5月5日	太神楽・ヴァイオリン漫談	鏡味初音・マグナム小林	1,516
5月6日	太神楽・紙切り	鏡味初音・青空麒麟児	1,430
5月10日	和太鼓・津軽三味線	金刺由大・白田路明	653
5月11日	太神楽・落語	鏡味初音・山遊亭金太郎	619
5月17日	津軽三味線	芝田雅人・匹田大智	671
5月18日	太神楽・落語	鏡味正二郎・三遊亭遊吉	759
5月24日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	617
5月25日	曲独楽・落語	やなぎ南玉・桂歌助	642
5月31日	箏	渡部祐子・柿木原こう	592
6月1日	ヴァイオリン漫談・落語	マグナム小林・三遊亭圓丸	755
6月14日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	554
7月12日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	622
7月19日	太神楽・落語	鏡味味千代・三遊亭金太	936

		郎	
7月20日	津軽三味線・和太鼓	白田路明・金刺由大	788
7月21日	箏	明日佳・谷富愛美	526
7月26日	紙切り・落語	林家花・桂歌助	838
7月27日	津軽三味線・和太鼓	白田路明・金刺由大	720
8月2日	曲独楽・落語	やなぎ南玉・桂伸治	776
8月3日	箏	明日佳・谷富愛美	641
8月9日	太神楽・落語	鏡味初音・三遊亭圓丸	841
8月10日	尺八	田嶋謙一・川村葵山	686
8月11日	太神楽・ジャグリング	鏡味正二郎・クラッチ	1,317
8月12日	紙切り・ジャグリング	林家花・コースケ	1,340
8月13日	面白音楽・ジャグリング	めおと劇団ジギキ・森田智博	1,429
8月14日	太神楽・ジャグリング	鏡味味千代クラッチ	1,417
8月15日	曲独楽・ジャグリング	やなぎ南玉・コースケ	1,499
8月16日	太神楽・ジャグリング	鏡味初音・ゴン	1,627
8月17日	面白音楽・ジャグリング	めおと劇団ジギキ・アンディ	1,194
8月18日	太神楽・ジャグリング	鏡味正二郎・かつちゃん	1,055
8月19日	曲独楽・ジャグリング	やなぎ南玉・かつちゃん	1,227
8月20日	紙切り・ジャグリング	青空麒麟児・トッチ	1,294
8月21日	太神楽・ジャグリング	鏡味味千代・ハット	1,269
8月22日	紙切り・ジャグリング	林家花・ハット	1,267
8月23日	太神楽・ジャグリング	鏡味初音・ゴン	1,377
8月24日	紙切り・ジャグリング	青空麒麟児・アンディ	1,230
8月30日	紙切り・落語	青空麒麟児・三遊亭遊吉	834
8月31日	津軽三味線	芝田雅人・匹田大智	664
9月13日	江戸芸かっぽれ	桜川びん助社中	667
9月20日	からくり大公演	夢からくり一座	1,229
9月21日	からくり大公演	夢からくり一座	1,028
9月22日	からくり大公演	夢からくり一座	919
9月23日	からくり大公演	夢からくり一座	986
9月27日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	1,081
9月28日	太神楽・落語	鏡味初音・桂南なん	831
10月4日	和太鼓・津軽三味線	金刺由大・白田路明	1,004
10月5日	奇術・落語	北見翼・桂小南治	961
10月11日	尺八	田嶋謙一・田辺道恵	985
10月12日	紙切り・落語	林家花・山遊亭金太郎	946
10月13日	箏	明日佳・谷富愛美	963
10月18日	箏	明日佳・谷富愛美	902
10月19日	面白音楽・落語	めおと劇団ジギキ・立川談幸	959
10月25日	箏	柿木原こう・石田真奈美	942
10月26日	曲独楽・落語	やなぎ南玉・桂伸治	996
☆11月11日	和太鼓	東京太鼓ガール	577

☆11月12日	和太鼓	東京太鼓ガール	784
☆11月13日	和太鼓	橋口隆之・金刺由大	1280
☆11月14日	和太鼓	橋口隆之・金刺由大	881
☆11月18日	和太鼓	金刺凌大・金刺由大	775
☆11月19日	和太鼓	東京太鼓ガール	792
☆11月20日	和太鼓	橋口隆之・金刺由大	847
☆11月21日	和大悟	東京太鼓ガール	824

5 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

ふれあい体験教室実施数 49件
ふれあい体験教室参加者数 2,121人

〔実績一覧〕

日 程	内 容	人数
4月5日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	130
4月5日	扇子遊びをしましょう	30
4月12日	和算のひみつ	17
4月12日	反古紙で折る小物	24
4月19日	ときめきキモノ体験	15
4月26日	万華鏡を作ろう	34
4月26日	みんなで遊ぼう！昔遊び	80
4月26日	ぶんぶん独楽をつくろう	48
4月27日	祭り茶席	40
4月27日	歴史散歩「広重の名所江戸百景（両国）今昔」	44
4月27日	藍染体験教室（ハンカチ染め）	51
5月24日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	135
6月1日	鳴物体験教室	113
6月1日	江戸模様で遊ぼう～消しゴムはんこで千代紙をつくる～	95
6月7日	和算のひみつ	43
6月7日	反古紙で折る小物	69
6月7日	歴史散歩「日本橋川橋めぐり」	11

6月8日	藍色のてるてるぼうずを作ろう	50
6月15日	水無月茶席	25
6月21日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	130
7月5日	和算のひみつ	26
7月5日	反古紙で折る小物	55
7月19日	ときめきユカタ体験	27
7月26日	歌舞伎の化粧をしてみよう！（子供向け）	6
7月27日	藍の生葉染め体験教室（小学生向け）	16
8月1日	江戸切子教室	22
8月2日	江戸切子教室	22
8月2日	和算のひみつ	33
8月2日	反古紙で折る小物	50
8月17日	浮世絵摺り体験教室	18
8月23日	親子体験教室「かざぐるまをつくろう」	30
8月23日	ときめきユカタ体験	24
8月30日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	140
9月6日	万華鏡で遊ぼう	11
9月27日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	110
9月27日	扇子遊びをしましょう	10
9月27日	藍染体験教室（ハンカチ染め）	37
10月4日	和算のひみつ	15
10月4日	反古紙で折る小物	35
10月4日	歴史散歩「愛宕山・氷川神社界限（仮）」	20
10月5日	神無月茶席	45
10月18日	ときめきキモノ体験	17
11月2日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	16
11月8日	万華鏡で遊ぼう	17
11月15日	オリジナル紙独楽を作ろう	48
11月22日	歴史散歩「夏目漱石 本郷と三四郎」	18
11月29日	ぽち袋を摺ろう	20
11月29日	ときめきキモノ体験	17
3月29日	歴史散歩「両国」	32

6 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の 16 時～16 時 30 分

回 数 計 35 回

参加者数 838 人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人 数
4 月 4 日	小酒井 大悟	町の暮らし	33
4 月 11 日	遠藤 あかね	江戸の美	21
4 月 18 日	遠藤 あかね	江戸の美	13
4 月 25 日	真下 祥幸	江戸の商業	30
5 月 2 日	真下 祥幸	江戸の商業	21
5 月 9 日	野本禎司（公益財団法人徳川記念財団専任研究員）	企画展「徳川将軍の書画」みどころ	32
5 月 16 日	小山 周子	江戸の盛り場	20
5 月 23 日	田原 昇	企画展「徳川将軍の書画」みどころ	35
5 月 30 日	小山 周子	江戸の盛り場	38
6 月 6 日	野本禎司（公益財団法人徳川記念財団専任研究員）	企画展「徳川将軍の書画」みどころ	45
6 月 13 日	阿部 由紀洋	戦争と復興	12
6 月 20 日	阿部 由紀洋	戦争と復興	15
6 月 27 日	橋本 由起子	市民文化と娯楽	10
7 月 4 日	橋本 由起子	市民文化と娯楽	13
7 月 11 日	田原 昇	江戸城と町割り	21
7 月 18 日	田原 昇	江戸城と町割り	26
7 月 25 日	杓沢 博行	モダン東京	8
8 月 1 日	杓沢 博行	モダン東京	27
8 月 8 日	国武貞克（文化庁 文化財調査官）	企画展「発掘された日本列島 2014」みどころ	40
8 月 15 日	遠藤あかね	江戸の美	21
8 月 22 日	国武貞克（文化庁 文化財調査官）	企画展「発掘された日本列島 2014」みどころ	42
8 月 29 日	遠藤あかね	江戸の美	24
9 月 5 日	丸山 はるか	芝居と遊里	20
9 月 12 日	丸山 はるか	芝居と遊里	33
9 月 19 日	吉田 奈緒子	出版と情報	11
9 月 26 日	吉田 奈緒子	出版と情報	23
10 月 3 日	小酒井 大悟	文明開化東京	20
10 月 10 日	小酒井 大悟	文明開化東京	15
10 月 17 日	杓沢 博行	企画展「師岡展」みどころ	25
10 月 24 日	杓沢 博行	企画展「師岡展」みどころ	22

10月31日	沓沢 博行	企画展「師岡展」みどころ	21
11月7日	真下 祥幸	江戸と結ぶ村と島	13
11月14日	真下 祥幸	江戸と結ぶ村と島	33
11月21日	小山 周子	江戸の四季と盛り場	32
11月28日	小山 周子	江戸の四季と盛り場	23

7 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館248名、分館197名体制により、本館では6,857件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成27年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 180名

ふれあいボランティア 68名（この内、展示ガイドとの兼任26名）

合計 248名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日15人程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間49回程度の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール、スペイン語。

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成26年4月～27年3月）

外国語による案内件数 3,118件

日本語による案内件数 3,701件

団体事前案内件数 8件

スポット解説 30件

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数 11回

研修参加者数（延べ人数） 481人

(2) 分館ボランティア

登録人数（平成27年3月31日現在） 189名

8 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 34校

受入者数 20名

期間 平成26年8月27日（水）～9月4日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月27日(水)	午前	【オリエンテーション】事業企画課長挨拶、展示事業係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【常設展示・教育普及活動①】教育普及活動、ボランティア	講義	展示事業係
		午後	【常設展示見学】	見学	展示事業係
			【常設展示・教育普及活動②】教育普及活動、ボランティア	講義	展示事業係
			【博物館の現状と課題】	講義	展示事業係
			【事務連絡】たてもの園実習について		展示事業係
2	8月28日(木)	午前	【たてもの園の概要】	講義	たてもの園係
			【たてもの園の普及事業】	講義	たてもの園係
			【たてもの園見学】	見学	たてもの園係
		午後	【普及事業の立案】立案作成のための説明	講義	たてもの園係
			【普及事業の立案】立案、発表、講評	実習	たてもの園係
			【事務連絡】		たてもの園係
3	8月29日(金)	午前	【資料の収集と保管】	講義	資料係
			【バックヤード・収蔵庫見学】	見学	資料係
		午後	【資料の収集と保管】資料のクリーニング、資料情報カードの作成	実習	展示事業係

			【事務連絡】展示実習の説明		展示事業係
4	9月2日 (火)	午前	【展示実習Ⅰ】グループワーク（展覧会基本計画の立案・施工デザイン・チラシ作成・調査研究）	実習	展示事業係
			【展示実習Ⅰ】図書室の使い方説明	講義	都市歴史研究室
		午後	【展示実習Ⅰ】役割分担、展覧会概要決め	実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
4	9月3日 (水)	午前	【展示実習Ⅰ】グループワーク	実習	展示事業係
			午後	【展示実習Ⅰ】グループワーク	実習
		【展示実習Ⅱ】展示準備（演示具選定、キャプション作成）		実習	展示事業係
		【事務連絡】事務連絡		展示事業係	
5	9月4日 (木)	午前	【展示実習Ⅲ】展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
			午後	【展示実習Ⅲ】展示作業、発表、講評、片付け	実習
		【館長講義】		講義	展示事業係
		【学芸員実習まとめ】反省会、事業企画課長挨拶、事務連絡		展示事業係	

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 246人

参加学校数 37校（小学校 0、中学校 34、高等学校 3、大学 0）

② 職場訪問の実施

参加人数 71人

参加学校数 15校（中学校14、高等学校1）

(3) その他の研修受入れ

首都大学東京現場体験型インターンシップ 平成26年8月12日（火）～8月14日（木）
（3名）

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成26年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時	平成26年7月28日（月）14時00分から16時00分まで
場 所	事務棟2階 会議室
内 容	1 平成25年度事業実績について 2 日中韓の都市歴史博物館ネットワークについて 3 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について 4 その他

○平成26年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時	平成27年4月13日（月）14時00分から16時00分まで
場 所	事務棟2階 会議室
内 容	1 副会長の指名 2 平成27年度事業計画及び予算について 3 その他

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成27年3月末現在）

委員長	藤 森 照 信	（東京大学名誉教授）
副委員長	坂 本 光 一	（元東京都教育委員会教育長）
委 員	石 橋 昌 雄	（全国小学校社会科研究協議会推薦 板橋区立板橋第十小学校校長）
委 員	市 村 佑 一	（江戸川大学学長）
委 員	伊 東 孝	（産業考古学会会長）
委 員	薄 井 和 男	（神奈川県立歴史博物館館長）
委 員	熊 倉 功 夫	（静岡文化芸術大学学長）
委 員	久留島 浩	（国立歴史民族博物館館長）
委 員	越 澤 明	（北海道大学名誉教授）
委 員	峰 岸 純 夫	（首都大学東京名誉教授）
委 員	山 本 与志春	（東京都私立中高等学校協会推薦 青山学院常務理事）
委 員	吉 見 俊 哉	（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

当該年度末までの事業実績を評価の対象とするよう改善をはかり、最終の委員会は年度明けの4月に開催する。

○ 平成26年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

日時 平成26年7月3日(木) 午後3時から午後4時30分
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成25年度外部評価総合評定について
2 平成26年度事業計画について

第2回

日時 平成27年4月28日(火) 午後15時から午後17時30分
場所 事務棟2階 会議室
内容 平成26年度外部評価 評定について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

委員長 半田 昌之 (たばこと塩の博物館学芸部長)
委員 畠中 勇 (江戸東京博物館友の会会長)
委員 松尾 正人 (中央大学教授・副学長)
委員 松田 幸雄 (㈱TBSサービス 常務取締役)
委員 村田 孝子 (ポーラ文化研究所 研究員)

○ 平成26年度東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日時 平成26年6月25日(水) 午前10時00分から午後12時00分
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 1 平成25年度外部評価総合評定について
2 平成26年度事業計画について

第2回

日時 平成27年5月14日(木) 午前10時30分から午後12時00分
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 平成26年度外部評価総合評定について

○ 東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会委員 (平成27年3月末現在)

委員長 陣内 秀信 (法政大学教授)
委員 内田 青蔵 (神奈川大学教授)
委員 中島 清文 (三鷹の森ジブリ美術館館長)
委員 西田 剛 (小金井市教育委員会生涯学習部長)
委員 馬場 憲一 (法政大学教授)

(3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、(公財)東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理(株)及びアサヒビール(株)三者間の総合調整を行った。

○ 平成26年度コンソーシアム運営協議会

第1回

日時 平成26年7月30日(水) 11時00分から12時00分まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成25年度運営実績報告及び決算について
2 平成26年度コンソーシアム運営方針(案)について
3 平成25年度「東京都江戸東京博物館指定管理者」共同連合体協定書第9条に係る覚書(案)について
4 危機管理対応について
5 その他

第2回

日時 平成27年3月11日(水) 15時から16時まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成27年度事業運営方針について
2 平成27年度休館日について
3 その他

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し、ホール113件、会議室73件、学習室82件、その他の施設85件、企画展示室5回249日を貸出した。

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵(庭園保全管理)

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、学校団体などへの事前ガイドや視察時の会場、特別展関連講座の会場、えどはくカルチャーの会場として使用した。

(1) 映像ホール

入場者実績 36,982人

	利用目的	内 容	入場者実績
1	ボランティアガイド	学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明・館内の案内映像を放映	3,452人
2	視察対応	外部団体や大学、海外要人・機関等への館概要説明	494人
3	展覧会関連	特別展関連映像の放映や友の会等への展示内容説明	0人
4	えどはくカルチャー	館事業「えどはくカルチャー」会場として利用	60人
5	団体等対応	来館された団体に対して館内の案内映像を当日受付で放映・団体（大人数）のライブラリー作品鑑賞希望に対しての対応・その他催事会場として利用	394人
6	企画上映	特別展・企画展に関連した映像や季節にふさわしい映像を放映。	32,582人

26年度企画上映プログラム

4月2日（火）～5月26日（日）
企画上映①江戸庶民の信仰を学ぶ！ 「仏像シリーズ4 江戸の巷の仏たち」 1981年/東京都映画協会制作
企画上映②季節を満喫する！春編 「みわたせば桜桜桜」 1993年/東京都映画協会制作 「春の隅田川めぐり」 1986年/東京都映画協会制作
企画上映③地域ゆかりの文学を学ぶ！ 「文学のある風景 隅田川」 1994年/東京都近代文学博物館・東京都映画協会制作

5月28日（火）～7月28日（日）
<p>企画上映①江戸城をしてみよう！企画 「寛永の江戸 日本橋と江戸城」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②企画展「発掘された日本列島」関連映像 「遺跡のふるさと」 1970年/東京都映画協会制作 「未来を掘る 櫛田遺跡群」 1976年/東京都映画協会制作</p> <p>企画上映③伝統工芸を学ぼうシリーズ 「東京の伝統工芸品 江戸切子」 1986年/東京都産業労働局制作</p>
7月30日（火）～9月13日（金）
<p>企画上映①特別展「花開く 江戸の園芸」関連映像 「江戸のイキ粋エコロジー 向島百花園」 1992年/東京都映画協会制作 「向島 七草十五夜 秋情報」 1987年/東京都映画協会制作</p> <p>企画上映②鉄道の歴史を学ぶ！夏休みスペシャル 「鉄道の発展と都市の広がり」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映③東京の自然を知る！夏休みスペシャル 「東京の自然1 東京湾の野鳥」 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「東京の自然2 東京の島と海（TOKYOアイランド）」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p>
9月14日（土）～11月4日（月・祝）
<p>企画上映①特別展「明治のころ モースが見た庶民の暮らし」関連映像 「お雇い外国人と東京1 エドワード・S・モース」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②スポーツの秋！オリンピック特集 「オリンピックへの道」 1959年/東京都江戸東京博物館制作 「都立駒沢オリンピック公園」 1964年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映③季節を満喫する！秋編 「山里をあるく 夕焼小焼の里・恩方」 1992年/東京都映画協会制作 「秋の紅葉 武蔵野散策」 1987年/東京都映画協会制作</p>
11月6日（水）～12月23日（月・祝）
<p>企画上映①特別展「明治のころ モースが見た庶民の暮らし」関連映像 「お雇い外国人と東京1 エドワード・S・モース」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②両国ゆかりの歴史・文化特集 忠臣蔵 「うちいりのあったまち 本所松坂町」 1977年/東京都映画協会制作 「東京レポート 仲直り忠臣蔵」 1984年/東京都映画協会制作</p> <p>企画上映③伝統工芸を学ぼうシリーズ 「東京の伝統工芸品 江戸押絵羽子板」 1986年/東京都産業労働局制作</p>

1月2日（木）～3月2日（日）	
企画上映①特別展「大浮世絵展」関連映像	「東京の伝統工芸品 江戸木版画」 1994年/東京都産業労働局制作
企画上映②特集展示「東海道五拾三次 江戸の旅事情 お伊勢参りと物見遊山」関連映像	「変化する身近な風景4 江戸の街道」 1992年/東京都江戸東京博物館制作
	「日本橋から六郷まで」 1962年/東京都映画協会制作
企画上映③伝統芸能を学ぼうシリーズ	「獅子舞と曲芸 江戸の太神楽」 1994年/東京都江戸東京博物館制作
3月4日（火）～5月11日（日）	
企画上映①特別展「大江戸と洛中」関連映像	「寛永の江戸 日本橋と江戸城」 1992年/東京都江戸東京博物館制作
	「東京の下町と山の手」 1992年/東京都江戸東京博物館
企画上映②行ってみよう！東京の名勝特集	「東京の庭園1 江戸の庭園 六義園・箱根山」
	1992年/東京都江戸東京博物館制作
作	「東京の庭園2 江戸の庭園 後樂園・浜離宮」
	1992年/東京都江戸東京博物館制作
作	
企画上映③季節を満喫する！春編	「みわたせば桜桜桜」 1993年/東京都映画協会
	「春の隅田川めぐり」 1986年/東京都映画協会

※企画上映①…10時30分～/13時30分～/16時30分～、企画上映②…11時30分～/14時30分～/17時30分～（土曜日のみ）、企画上映③…12時30分～/15時30分～

(2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（14人利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	15,996回（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

IX 広報事業

1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内リーフレット	常設展リニューアルにあわせ、デザイン・内容を改訂し、より分かりやすく親しみやすいリーフレットとした。 日本語版 200,000部 英語版 100,000部 合計 300,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	平成27年度発行号より、デザイン・内容・発送先を改訂すべく、準備を進めた。 年4回発行 延280,000部
取材対応		人気番組「SMAP×SMAP」「美の巨人たち」など人気番組の取材に積極的に対応し、博物館に興味の薄い層へ江戸博の魅力を周知した。 対応件数 1,504件
インターネットホームページ	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	平成27年3月27日より、常設展リニューアルにあわせ、デザイン・内容を改訂し、わかりやすく魅力的なHPとした。また、外国語の内容を充実させた。 アクセス件数 10,143,204件
スマートフォンサイト	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	平成27年3月27日より、スマートフォンのサイトを新設した。
常設展リニューアル特設サイト	日本語版	平成26年11月28日より、常設展リニューアルの内容・特徴を周知する特設サイトを設置した。
メールマガジンの配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 48,771通
その他の広報	PR活動	①企画展プレス内覧会の実施 4回 ②常設展リニューアルオープンの広報 ・広報事務局の設置 ・プレスリリースの作成・配布 ・プレスツアーの実施（3月12日） ・プレス内覧会の実施（3月27日）

チラシ・ポスターの発行(夏休みイベント)	①夏休みイベント チラシ 80,000部 ポスター 300部 ②常設展リニューアルオープン チラシ 150,000部 ポスター 16,411部
有料広告の出稿	①すみだTOWN情報紙アベニュー、「江戸楽」等 各12回掲載 ②常設展リニューアルオープン 新聞5紙、雑誌2誌、折込広告、交通広告(駅貼り・中吊り)
ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数6,400人 開館10周年記念で制定された公式キャラクター「ギボちゃん」によるツイッターを即時性の高い広報ツールとして活用した。
公式キャラクター「ギボちゃん」の活用	夏休み等の館内イベントに登場させるだけでなく、「両国にぎわい祭り」、墨田区主催「すみだまつり・子どもまつり」など外部イベントでも活動を行った。
外国人対象の広報	CNNj・はとバスでのCM出稿 台湾でのWebアンケート実施 TCVB主催の商談会への参加 等
他団体との連携	映画「超高速！参勤交代」の記者発表会 「TX&メトロ合同ウォーキング」 ギボちゃんとかまモンの共演等

2 分館

種別	名称	実績
館内案内ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	日本語版 450,000部
		英語版 10,000部 中国語版(簡体字) 3,000部 韓国語版 増刷なし 合計 463,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延50,000部
	イベント案内	年4回 延372,000部

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月4日	真下祥幸	摂陽大阪安治川口諸廻船目印山細見	淀川の土砂で天保山
2	4月18日	小山周子	東京名所図会尾張町煉化石	銀座彩る老舗 壮麗な姿
3	4月25日	齋藤慎一	十三経注疏	都城制の理念 残る謎
4	5月9日	田原昇	鶏図	絵画好んだ将軍しのぶ
5	5月23日	阿部由紀洋	テープレコーダーH型	「ウォークマン」のルーツ
6	5月30日	丸山はるか	中村座三階図	見せます 役者の舞台裏
7	6月6日	橋本由起子	東京百花美人鏡	人気の軽気球を舞台に芸妓 写真で花添え
8	6月20日	杓沢博行	大島波浮之港	歌の舞台変わらぬ美しさ
9	6月27日	小酒井大悟	ペリー使節への賜物書上	黒船に見せた日本人の力
10	7月4日	小山周子	江戸高名会亭尽 日本橋柏木	料亭から粋な七夕見物
11	7月25日	遠藤あかね	向ふ島ほたるかりの図	夏の風物詩 庶民の娯楽に
12	8月1日	真下祥幸	四谷大木戸水番屋	飲料水支えた土木技術
13	8月29日	吉田奈緒子	町の構成と施設	通り中心に 生活の場整備
14	9月5日	田原昇	木樋（東京都汐留遺跡出土）	町を潤す自慢の水道管
15	9月26日	小酒井大悟	江戸府内絵本風俗往来 下巻	町人寄り合う「自身番屋」
16	10月17日	杓沢博行	安全地帯の女性	賑わう銀座 モダンな装い
17	10月24日	行吉正一	東京オリンピックポスター（公式Dポスター）	日本の復興告げる聖火
18	10月31日	吉田奈緒子	正受院の奪衣婆	流行神 どんな願い事でも
19	11月7日	行吉正一	ポスター「オリンピック一人一人が主人役」	国際舞台復帰へ 心の改革
20	11月28日	杓沢博行	表通り朝	都電走る 静かな銀座
21	12月5日	朴美姫	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	格子窓から見た 冬の市
22	12月19日	落合則子	解体新書 全5冊	源内の存在 刊行の背景に
23	1月23日	熊谷紀子	紙布の裃	強靱な和紙 優れた織物に
24	1月30日	栗原智久	勝海舟関係文書	全集の原本 直筆の日記も
25	2月6日	楯石もも子	ニコニコ寫真畫報 増補第三版	近代史彩る人物の笑顔
26	2月20日	粟屋朋子	中村座	劇場の喧噪伝わる錦絵
27	2月27日	落合則子	江戸の病人の吐塊物	町医者現場の生々しく
28	3月6日	西村直子	加藤清正図	災い討つ 勇壮な武将の絵
29	3月20日	阿部由紀洋	言問橋の欄干	悲惨な歴史の目撃者
30	3月27日	新田太郎	東京都第五建設事務所古井戸	急速な地盤沈下物語る

4 江戸東京博物館開館 20 周年記念事業

開館 20 周年を記念し、当館の 20 年間の事業実績及びトピックスをまとめた冊子（日本語版・英語版）を発行し、広報・視察・リニューアルオープン記念事業等で配布、活用した。

（1）20 周年記念誌 日本語版

名称 『江戸東京博物館・江戸東京たてもの園 20 年のあゆみ』
発行年月日 平成26年9月30日
発行部数 1,000部

（2）20 周年記念誌 英語版

名称 『Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum,
20 Years of History』
発行年月日 平成27年3月28日
発行部数 400部

X 常設展示室リニューアルオープン記念関連事業

常設展示室のリニューアルオープンを記念し、記念式典及び記念フォーラムを開催、その他各種来館者向けサービスを行った。

(1) 常設展示室オープニング記念式典

日時 3月28日(土) 10:00~10:50
場所 東京都江戸東京博物館 1階 ホール
内容 開会式及び自由鑑賞(5・6階 常設展示室)
参加者 招待者 243人

(2) 常設展示室リニューアルオープン記念フォーラム

「伝統文化の海外発信と異文化理解」

日時 3月28日(土) 13:30~16:00
場所 東京都江戸東京博物館 1階 ホール
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内容 常設展示リニューアルオープンを記念し、海外で落語公演を行う三遊亭竜楽を招き、落語の実演と事例報告を行った。

さらに、竜楽をはじめ、海外で漫才公演を行うパッキンマックン、当館館長の竹内誠とで伝統文化の海外発信に関する意見交換を行い、その課題と今後のあり方について議論を行った。

- ・ 実演と事例報告
三遊亭竜楽
- ・ トークセッション
竹内 誠
三遊亭竜楽
パッキンマックン
コーディネーター：小林淳一(江戸東京博物館 副館長)

参加者 招待者、一般都民 222人

参加料 無料

(3) 来館者サービス

① 常設展示室 観覧料無料

日時 3月28日(土)~31日(火)の4日間

② 常設展示室 各日先着200名に記念品(オリジナルグッズのマスキングテープ)をプレゼントした。

日時 3月28日(土)~31日(火)の4日間

③ お出迎えイベント

日時 3月28日(土)~31日(火) 各日4~5ステージ

場所 6階 常設展示室、1階 エントランスホール

内容 獅子舞の実演、邦楽の演奏 等

④ 公式マスコットキャラクター(ギボちゃん)のグリーティング

日時 3月28日(土) 3回

場所 1階 エントランスホール 等